

# 小山市長 令和4年1月 定例記者会見

日 時：令和4年1月27日(木)14時～  
会 場：市役所 7階 委員会室

1	開会	
2	市長あいさつ	
3	市長発表内容	
	(1) 小山市新型コロナウイルスの取組みについて ～新型コロナワクチン追加接種及び支援策について～	1
	(2) 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金について ～所得制限等をなくし、子ども1人につき10万円を給付します～	3
	(3) 「令和3年度第3回小山市民フォーラム」の開催について ～外国人にも暮らしやすい小山にするためには？～	4
4	部長発表内容	
	(1) 令和4年第1回市議会定例会提出予定議案について	5
	(2) 敬老事業に関する一部変更について	6
	(3) 「第9回小山評定講演会」の開催について ～戦国乱世に終止符を打ち、泰平な世徳川三百年を決定付けた天下分け目の 軍議「小山評定」～	8
	(4) 令和3年 火災・救急・救助・その他の件数について ～おうち時間 家族で点検 火の始末～	9
	(5) 高校生によるおーラジオ番組放送「小山の魅力発信隊！！！」について ～Oyamaの魅力を伝えるラジオ番組を作ろう～	10
5	閉会	

## 記者会見資料

保健福祉部 健康増進課

### 1. 件名

小山市新型コロナウイルスの取組みについて  
～新型コロナワクチン追加接種及び支援策について～

### 2. 趣旨

小山市における新型コロナウイルスワクチン接種の追加接種は、2回目接種完了から原則8ヶ月経過後に接種を行うとの国からの方針に沿って準備を進めてきましたが、医療従事者等及び高齢者施設等の入所者等、その他の65歳以上の高齢者については接種間隔が6ヶ月以上、その他の一般の方は7ヶ月以上に前倒しするなど、8ヶ月を待たずに接種間隔を前倒しするとの国の方針が変更されました。市といたしましては、早期に接種を進めるため、接種間隔を6ヶ月以上での接種を可能といたします。

また、市民の皆様へ感染の不安なく、安心して過ごしていただくための新型コロナウイルス感染症関係の支援策として、以前より行っておりました制度や事業がご利用できますので、改めてお知らせいたします。

### 3. 内容

#### ①今後の追加用接種券の発送状況

2回目接種完了月	追加用接種券発送予定	集団接種予約開始日
令和3年3、4、5月 主に医療従事者	令和3年11月19日 発送済み	令和4年1月6日 済
令和3年6月 主に医療従事者 および高齢者	令和3年12月24日 発送済み	令和4年1月12日 済
令和3年7月 主に高齢者	令和4年1月14日 発送済み	令和4年1月20日 済 令和4年1月21日 済
	令和4年1月21日 発送済み	令和4年1月27日 済 令和4年1月28日
	令和4年1月31日	令和4年2月8日 令和4年2月9日
	令和4年2月10日	令和4年2月18日
令和3年8月 主に高齢者および 基礎疾患患者	令和4年2月21日	令和4年2月25日
	令和4年2月28日	令和4年3月10日

## ②今後の集団接種の日程について

接種月	会場	開設数
2月	ロブレ3階特設会場 総合支援センター 中公民館、絹公民館 新小山市民病院	合計22回
3月	ロブレ3階特設会場 総合支援センター 桑市民交流センター 間々田市民交流センター 新小山市民病院	合計12回

※予約方法 電話 8:30~20:00

インターネット 24時間(予約開始日は、8:30~)

※使用ワクチン 2月14日(月)まで ファイザー社製ワクチン  
2月16日(水)以降 モデルナ社製ワクチン

## ③支援策について

### (1)新型コロナウイルス感染症抗原検査事業(10月1日開始)

新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した市内の社会福祉施設等において、陽性者との接触等により感染が懸念される者に対し、施設等の単位での申出により抗原検査を実施しています。

### (2)新型コロナウイルス感染症検査費用助成金制度(10月1日開始)

医療機関でPCR検査等を受けた方で、検査を受けた日に小山市の住民基本台帳に記録されている方を対象に、PCR等の検査費用の助成を行っています。

### (3)自宅療養者等に対する生活支援の充実

感染により自宅療養者や家庭内に感染者がいることで、外出を控えている世帯に対し、療養期間内の生活の一助となるよう、日常生活用品を支給しています。

### (4)保健師・栄養士による健康相談

コロナ禍での外出自粛等により、心身の健康に不安を抱える方や、自宅療養中の方を対象に、保健師・管理栄養士が健康相談に応じています。

## 記者会見資料

保健福祉部 子育て家庭支援課

### 1. 件名

令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金について  
～所得制限等をなくし、子ども1人につき10万円を給付します～

### 2. 趣旨

国が令和3年11月19日に閣議決定した、18歳以下の子どもに対する10万円相当の給付について、当初は所得制限や離婚等により「子育て世帯への臨時特別給付金」の受給ができない方が出てしまう予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給付することが認められたため、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、幅広く子育て世帯を支援することを目的に対象者を追加し、子ども1人につき10万円の給付をするものです。

また、令和3年1月27日現在での子育て世帯への臨時特別給付金の給付状況等について報告するものです。

### 3. 内容

(1)0歳から15歳までの児童を養育し9月分の児童手当が特例給付となっている方

対 象:1,220世帯 1,940人

事務手続:2月中に支給決定通知書を発送する予定

給付予定:2月末に給付予定

(2)16歳から18歳までの高校生等を養育し児童手当の所得制限を超過する方

対 象: 230世帯 350人

事務手続:申請手続きに関する案内通知を2月中に送付予定

申請書及び必要書類の受領・確認後、支給決定通知書を発送する予定

給付予定:3月末から順次給付予定

(3)離婚等の別居により、給付金を受給することができなかった方

対 象: 90世帯 150人

事務手続:対象に該当する可能性のある方へ2月以降から順次通知を送付予定

申請書及び必要書類の受領・確認後、支給決定通知書を発送する予定

給付予定:3月末から順次給付予定

合計:1,540世帯 2,440人

### 4. 子育て世帯への臨時特別給付金給付状況について

○給付実績(令和4年1月28日の振込み分含む)

13,294世帯、子ども20,958人分

# 記者会見資料

総合政策部 シティプロモーション課

## 1. 件名

「令和3年度第3回小山市民フォーラム」の開催について  
～外国人にも暮らしやすい小山にするためには？～

## 2. 要旨

「小山市民フォーラム」は、市民参加型まちづくりを進めるため、市民の皆さんと市長が意見交換を行い、市民の皆さんのご意見を市政に反映させるものです。

今回の討論テーマは「外国人にも暮らしやすい小山にするためには？」とし、小山市在住の外国人や関連のある方へ参加を呼びかけるとともに、このテーマに関心がある市民にご参加いただき、意見交換を行います。事前に小山市における外国人向けの施策の紹介など基本情報を共有し、多文化共生を進める上で欠かせないご意見をいただきます。

## 3. 内容

(1) テーマ 「外国人にも暮らしやすい小山にするためには？」  
～多文化共生について考えよう～

(2) 日 時 令和4(2022)年3月20日(日)午後2時～(5時頃終了予定)

(3) 会 場 小山市役所7階委員会室 小山市中央町1-1-1

(4) 対 象 市内に在住・通勤・通学している方

(5) 定 員 40人 ※応募者多数の場合は抽選により決定

(6) 申込み方法

令和4(2022)年2月22日(火)までに、以下の【記載事項】を明記し、いずれかの方法で申し込みください。

【記載事項】①「氏名」②「住所」③「電話番号」④「年齢」

⑤「(お持ちの方は)メールアドレス」⑥「手話通訳・託児利用」の希望の有無

⑦「ご意見(200字以内)」※ご意見は匿名でホームページに公表します

■市HP 検索サイトで「小山市 市民フォーラム」と検索

■メール [d-promotion@city.oyama.tochigi.jp](mailto:d-promotion@city.oyama.tochigi.jp)

■郵 送 〒323-8686 住所不要 小山市役所 市民フォーラム担当 宛て

■F A X (0285)22-9546 小山市役所 市民フォーラム担当 宛て

■窓 口 シティプロモーション課

## 4. その他

- ・テレビ小山で録画放送するため、発言時等に映る可能性があります
- ・当日不参加となる方も、ご意見をいただければ、参考にいたします
- ・意見交換の様子をご覧になりたい方は傍聴での参加も可能です
- ・新型コロナウイルス感染状況により、オンラインとなる場合もあります

## 令和4年第1回市議会定例会提出予定議案総括表

### ○議案 33件（議案第1号～33号）

- ・当初予算に関するもの 12件（1号～12号）
- ・補正予算に関するもの 6件（13号～18号）
- ・条例に関するもの 12件（19号～30号）
- ・財産の取得に関するもの 1件（31号）
- ・人事に関するもの 2件（32号～33号）

### ○報告 2件（報告第1号～2号）

- ・専決処分の報告に関するもの 2件（1号～2号）

## 記者会見資料

保健福祉部 高齢生きがい課

### 1. 件名

敬老事業に関する一部変更について

### 2. 内容

小山市では、多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者の皆様を敬愛し、その長寿をお祝いするための事業を行っています。

一方で、近年の高齢化により高齢者数が増加しており、小山市内の65歳以上の高齢者数について、令和3年12月1日現在で42,904人(全人口の25.59%)となっており、日本人の平均寿命は、男性81.64歳、女性87.74歳となっております。これらに伴い、敬老会の規模や事業費が大きくなってきており、現行制度のままでは優先度の高い高齢者福祉施策の実施にも影響が出る懸念がございます。

こうした背景により、自治会連合会や老人クラブ等の関係団体の代表者や学識経験者等で構成する小山市敬老事業検討委員会で検討した結果、令和4年度より敬老事業の制度を一部変更させていただくことになりましたので、お知らせいたします。

なお、この変更により発生する財源については、優先度の高い高齢者福祉施策に重点的に使わせていただきます。

### 3. 見直す敬老事業

(1) 敬老祝金 ～長寿祝の対象年齢を迎える方へのお祝い金について～

現行制度と改正後の対照表

現行制度			改正後	
年齢区分	金額		年齢区分	金額
77歳(喜寿)	5,000円	→	80歳(傘寿)	5,000円
88歳(米寿)	10,000円	→	90歳(卒寿)	10,000円
95歳	30,000円	→	廃止	
100歳(百寿)	100,000円	→	100歳(百寿)	50,000円
101歳以上	20,000円	→	廃止	

※77歳喜寿又は88歳米寿の敬老祝金を贈呈された方には、80歳傘寿又は90歳卒寿の敬老祝金は贈呈されません。

※敬老祝金の対象者は、小山市の住民票への登録・居住実態・居住年数等の居住に関する要件を満たす必要があります。

## (2) 敬老事業補助金交付事業

～地域でその地区の高齢者の方々をお祝いしていただく敬老行事について～

### 現行制度と改正後の対照表

	現行制度	改正後
対象者年齢	75歳以上	80歳以上
補助金額	3,000円 (令和3年度2,000円)	2,000円
敬老事業の概要	祝賀会・旅行 記念品配布 等 ※記念品として、金券（商品券等）及び現金の配布は補助対象にはなりません。	祝賀会・旅行 記念品配布 等 ※記念品として、金券（商品券等）及び現金の配布は補助対象にはなりません。 (ただし、金券については、 <b>小山市共通商品券のみ補助対象とする方針</b> )

※小山市共通商品券の取り扱いについては、小山市共通商品券事業実行委員会と協議後に正式決定いたします。

#### 4. 見直しにより発生する財源の使途

見直しにより発生する財源を、高齢者の方が急病や災害時に迅速な対応を図るための「緊急通報装置貸与事業」や一般の公共交通機関を利用することが困難な高齢者の方の通院を支援する「移送サービス事業」の拡充といった高齢者福祉施策に重点的に活用していきたいと考えております。

#### 5. 問合せ

小山市保健福祉部 高齢生きがい課 生きがい推進係 TEL 0285-22-9617

## 記者会見資料

教育委員会 文化振興課

### 1. 件名

「第9回小山評定講演会」の開催について

～戦国乱世に終止符を打ち、泰平な世徳川三百年を決定付けた天下分け目の軍議「小山評定」～

### 2. 内容

徳川三百年を決定付けたといわれる天下分け目の軍議、史実「小山評定」に参加した主要な武将の生涯を一冊にまとめた、『小山評定武将列伝』の執筆者による講演会を開催いたします。

今回のテーマは、関ヶ原の戦いで徳川軍の勝利に大きく貢献し、豊前國小倉藩30万石の大大名となった「細川忠興公」です。

小山の歴史ブランドを全国に発信するこのイベントに、ぜひお越しください。

### 3. 講演会の概要

開催日時 令和4(2022)年2月26日(土)午後1時から午後3時頃  
(開場は午後0時30分)

開催場所 小山市立文化センター小ホール

定員 150人(事前申込制、定員になり次第終了)

申込期限 令和4(2022)年2月14日(月)

演題 「豊前國小倉城主となった細川忠興」

講師 北九州市文化財保護審議会 会長 永尾 正剛 先生

### 4. 申込方法

申込期限までに、以下の記載事項を明記し、いずれかの方法で提出ください。

#### 【記載事項】

①住所 ②氏名 ③電話番号 ④メールアドレス(お持ちの方)

1) インターネット「かんたん申請システム」

2) Fax 22-9560 文化振興課 歴史のまち推進係 宛て

3) 窓口 文化振興課

### 5. 問合せ

小山市教育委員会 文化振興課 歴史のまち推進係 TEL 0285-22-9659

## 記者会見資料

消防本部 消防署

### 1. 件名

令和3年 火災・救急・救助・その他の件数について  
～おうち時間 家族で点検 火の始末～

### 2. 要旨

小山市消防本部管内(小山市・野木町)における令和3年1月1日～12月31日までの火災・救急・救助・その他の件数の概要です。

### 3. 内容

#### (1) 火災状況

火災件数は39件(前年比4件増)です。内訳は、建物火災が23件で最も多く、他に車両火災が12件、その他の火災が4件です。

主な出火原因は、放火が7件、コンロが6件、次いで排気管、電灯・電話等の配線、配線器具、放火の疑いがそれぞれ2件となっています。

火災による死者は3人(前年比3人増)で、2人は住宅火災によるものです。負傷者は5人(前年比2人減)で5人とも住宅火災によるものです。

損害は、8,600万5千円(前年比1,199万1千円減)です。

#### (2) 救急出動状況

救急の出動件数は7,885件(前年比318件増)となり、搬送した人員は7,303人(前年比421人増)です。

事故種別は、急病が5,053件と最も多く、全体の64.1%を占めています。

傷病程度の内訳は、死亡116人、重症696人、中等症3,090人、軽症3,401人となり、軽症者が全体の46.6%を占めています。

#### (3) 救助出動状況

救助出動件数は127件(前年比23件増)です。

事故種別は、交通事故が35件と最も多く、全体の27.6%を占めており、次に建物等による事故が22件です。

#### (4) その他の出動状況

その他の出動件数は175件(前年比51件減)となり、緊急確認47件と危険排除47件で全体の53.7%を占めています。

### 4. 問合せ

小山市消防本部 消防署 消防係 TEL0285-39-6664

## 記者会見資料

総合政策部 シティプロモーション課

### 1. 件名

高校生によるおーラジオ番組放送「小山の魅力発信隊!!!」について  
～Oyamaの魅力伝えるラジオ番組を作ろう～

### 2. 内容

「おやま高校生まちづくりプロジェクト」は、おやまで暮らす高校生が、普段生活しているまちを探索し、おやまのよりよい未来のために自分たちができることを考え、実践していくプロジェクトです。

この度、小山市コミュニティFMおーラジオにおいて、高校生によるオリジナル番組「小山の魅力発信隊!!!」を、「おやま高校生まちづくりプロジェクト」に参加する0期生3名、1期生9名の合同で放送いたします。

(番組内容1) 昨年11月から活動している1期生が3名1組の3チームで、市内レジャー施設や飲食店を取材したことで知った魅力などを紹介します。

(番組内容2) 小山高校探求プログラム(OTP)の一環で、大正大学と連携して「おやま高校生まちづくりプロジェクト」で活動している0期生により、小山市のまちづくりに関するアンケート調査報告や小山市へのUターン・移住増加のアイデアを発表します。

### 3. 放送日時

令和4(2022)年2月6日(日) 午前10時から12時まで

### 4. 聴取方法

小山市コミュニティFM「おーラジオ」【FM77.5MHz】

※FMプラプラアプリでも聴取可能!

### 5. 問合せ

小山市総合政策部 シティプロモーション課 移住定住推進 TEL 0285-22-9376